

新しい労働組合への転換 組合員の『関与』を高める

# ON・I・ON2公開セミナー

全国労働組合共同調査プロジェクト「ON・I・ON2」のコンセプトに基づいた参加型セミナー

共催：（社）国際経済労働研究所 （株）応用社会心理学研究所

## 日程

2011年12月1日（木）～2日（金）（1泊2日）

## 会場

アイ・アイ・ランド（大阪府四條畷市）

**早期割引・団体割引 有**

詳しくは裏面お申込み規定を  
ご覧ください

## 特徴

1. 参加型ワークショップで現場に戻ってから使える活動のガイドラインを取得していただきます
2. 議論を通じて単なる交流に終わらない、業界を超えた情報交換をしていただけます
3. 全国200万人の意識調査データの解説と有効な活用方法をご紹介します
4. 希望する人数で気軽にご参加していただけます

## 対象

労働組合 支部執行委員レベル以上

- ・執行委員の動機づけをお考えの方（3役、教育担当、組織担当の方など）
- ・組合員を活動に巻き込む方法や活動のアピールに悩んでおられる方
- ・組合のあり方について、新しい視点を模索されている組織の方
- ・ON・I・ON2調査、研修をご検討の担当の方
- ・ON・I・ON2の考え方に興味を持たれた方

詳しくは次ページをご覧ください

## 講師

八木 隆一郎（ヤギ リュウイチロウ）

（社）国際経済労働研究所 専務理事・統括研究員

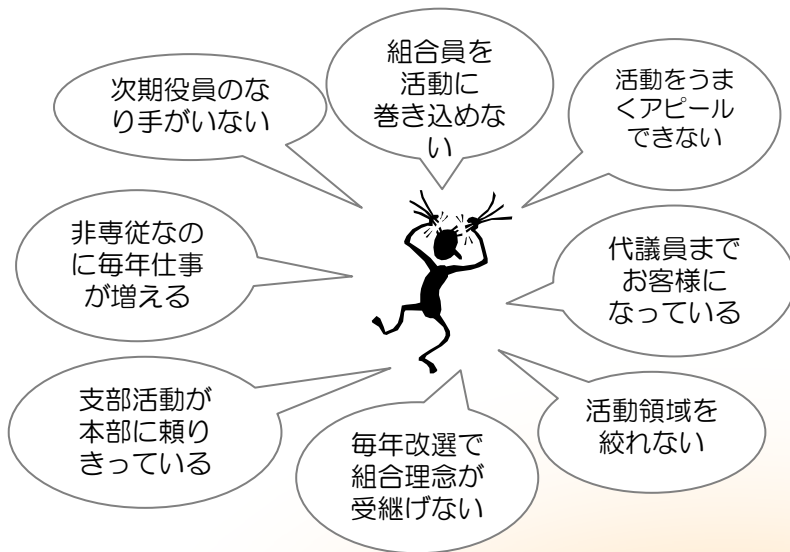


社会心理学者。動機づけ、人間関係、組合関与など研究分野は多岐にわたる。全国の主要労働組合が参加した国際経済労働研究所第30回同意識調査ON・I・ON2をまとめ、ON・I・ON研究会などの研究グループを主宰。研究の傍ら、近畿大学（経営心理学）、龍谷大学（社会心理学）で教鞭をとる。日本社会心理学会では自主シンポジウム『社会心理学における「産・労・学」協同の可能性』を研究会メンバーとともに発表。学会関係者のみならず産業界・労働界からも注目を集めた。著書に「成熟世界のパラダイムシフト」（共著・啓文社・1992）など

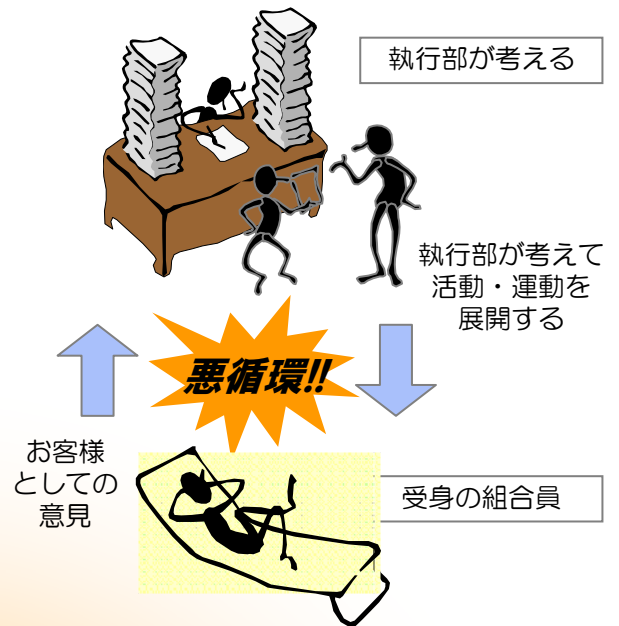
# 組合員をお客様にいませんか？

## 執行部の日頃の悩み

(よくある声を集めると…)



## その背景とは？



この状況から一歩でも前に踏み出すには…



キーワードは『**関与**』

組合員一人ひとりが労働組合の役割と存在意義を「自らの問題として」認識すること  
＝『**関与**』が大切



現状他人まかせの  
“お客様”で  
構成された組織

現状

どっちが強い？

“メンバー”である  
と自覚した人々  
で構成された組織

本来の姿



## 現状は変えられる。組合員は活動を担うメンバー

ON・I・ON2公開セミナーでは、

- 組合活動のあり方を**社会心理学**という新たな切り口で見つめ直します
- 労働組合がなぜ元気をなくしたのか**、その原因を振り返ります
- なぜ**組合員がメンバー**でなければならないか、を理解します
- どうすれば組合員がメンバーとして**活動にかかわりたくなるのか**を考えます
- 有効な活動プランの**作成プロセス**を体験できます



# スケジュール(予定)

## 1日目

オリエンテーション

13:00(開始)

### レクチャー

#### 1. 社会心理学についての概論

労働組合を見つめなおすために有効な視点を学ぶ

#### 2. 労働組合の現状

組合員の組合離れはなぜおこるのか?

290組織 約200万人  
組合員意識調査結果  
をご紹介します!

#### 3. 組織改造のための関与と評価

活動につながる調査のコツと調査データの活用方法

#### 4. 日本的企業文化と労働組合

会社はカネのかたまりか? ヒトのかたまりか?  
ヒト重視の企業統治を担う労働組合の役割を理解する

#### 5. 組合活性化へのアプローチ

強要ではなく、組合員が自発的に組合に関わりたく  
なるためのポイントとは?

#### 6. 組合関与の広がり

顧客でさえエンゲージメント(関与)が問われる今、  
関与型組織としての労働組合のあり方を再確認する

### ワーク(演習)

#### 7. スクラップ&ビルド

「関与」という切り口で実際に活動を考える

\*アイデアの洗い出しと活動領域の絞込み

\*深い議論により、レクチャー内容・調査結果を  
ふまえた具体的アクションに落とし込む

(宿泊)

## 2日目

### ワーク(演習)

#### 8. スクラップ&ビルド(前日の続き)

#### 9. 活動プランの発表・質疑応答

グループで作成した活動プランの発表と質疑応答

#### 10. 総合議論

発表をふまえ、さらに議論  
を掘り下げる。今後の活動  
の手ごたえや気づきを共有



クロージング

16:00(終了・解散)

## 参加者の皆さんの声

- 今までと見方の違う研修で大変参考になった。今まで以上に一生懸命組合活動に取り組める気がする
- 組合員はお客さまではないということに気づいた
- 労働組合が企業に与える力を再認識した
- 組合員の無関心に対してちょうど良いテーマであった。同じような形で代議員、執行員研修会で議論したい
- 各グループのプラン発表。自グループだけでなく他グループ企画内容も興味深かった



- 他労組で実施されている活動について、  
具体的なところまで意見交換できた
- 講師のレクチャーがわかりやすく、社会心理学の考え方に興味を持てた
- 組合員の「関与」を高めることの重要性が、  
議論を通じてさらに理解できた
- 自チームの企画については、単組でも是非実行したい
- 今後も連絡を取り合いたい仲間ができた

など

過去の公開セミナー参加組織 (敬称略、50音順) ※ご了承を頂いた組織のみ掲載しております。

阿波銀行従業員組合、イオンテール労働組合、NTN労働組合、キヤノン労働組合、  
サンデン労働組合、中央発条労働組合、ツムラ労働組合、日東電工労働組合、  
三菱UFJニコス労働組合、ユー・エス・ジェイ クルーアライアンス 他 過去100組織以上

# お申し込み規定

- **参加費** 税込み 68,000円/人  
 団体割引 (2名様以上でお申し込みの場合) ……67,000円/人  
 早期割引 (2011年11月1日 (火) までにお申し込みの場合)  
 ……67,000円/人  
 早期団体割引 ……66,000円/人

- **定員 30名**  
 ※最少催行人数に満たない場合は、延期する場合がございます

- **お申し込み方法**
- ① 別紙申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお送りいただくか、必要事項を任意の様式で記載しメールでお送りください。  
 seminar1@aspect-net.co.jp
  - ② 電話では予約のみ受け付けいたします。折り返し所定の用紙をお送りしますので、上記の通りFAXまたはメールにてお申し込みください。
  - ③ 参加ご案内、請求書は開催1ヶ月前から発送いたします。なお、1ヶ月以内のお申し込みの場合には、申込書受領後1週間ほどで実施概要をお送りします。
  - ④ 参加費は開催1週間前までに請求書の銀行口座へお振込ください。

- **ご注意**
- ・ 録音、録画機器のお持込はご遠慮ください。
  - ・ レジュメは会場でお渡しします。参加者以外の方にお分けすることはできませんのでご了承ください。

- **キャンセル規定**
- ・ 参加者のご都合が悪い場合には、代理の方がご出席ください。
  - ・ 代理の方のご都合がつかない場合は、下記によりキャンセル料を申し受けますので、ご了承ください。
  - ・ 開催7日前～前々日 (開催初日を含まず起算) ……参加費の30%
  - ・ 開催前日および当日 ……参加費全額
- ※万一キャンセルの場合は必ずFAXかメールでご連絡ください。

- **会場 アイ・アイ・ランド**  
 住所: 〒575-0011  
 大阪府四條畷市逢坂458  
 TEL: 072-876-1911  
 URL: <http://www.iiland.ne.jp/>  
 アクセス
- ① JR学研都市線 四條畷駅
  - ② 近鉄奈良線、近鉄東大阪線 生駒駅
- ※①12:00、②12:40に送迎バスをご用意しています。

## ON・I・ON2とは...

1990年、多くの組合で組合員の組合離れが叫ばれ、活動のメニューが多様化し、組合のユニオン・アイデンティティが拡散する中、国際経済労働研究所では「労働組合の参加関与型組織としての再生」をテーマに、労働組合を取り巻く意識を研究するためのプロジェクトを立ち上げました。それがON・I・ON研究会です。

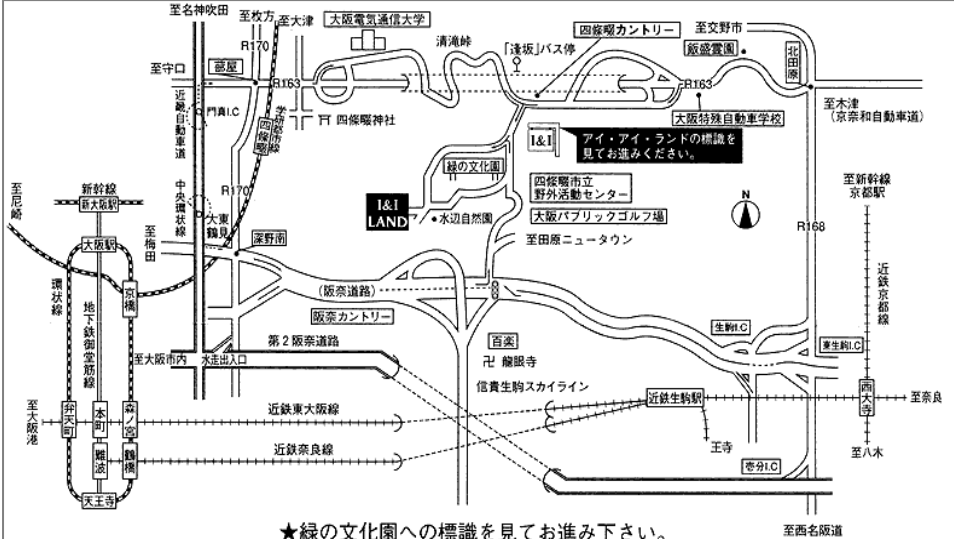
このプロジェクトは、現状の組合のあり方に警鐘を鳴らし、組合という組織を“自らがメンバーとして参加し関わっていく”という「参加関与型組織」として再生していくことを提案するものでした。

「ON・I・ON2調査」として知られている、国際経済労働研究所の第30回共同意識調査はこのコンセプトをもとに設計されました。

組合や会社に対する帰属意識や、メンバーである組合員が、組合を通じて何がしたいのかを探ることで、組合活動の総点検を行い、現在の活動を、関与が得られる活動に移行していく。これを繰り返すことによって、組合員の関与を高め、仲間を増やし、活動に巻き込みながら、最終的には組合員自身が、取り組むべき活動を考えられる組織に変えていくことを目指しています。

「ON・I・ON2研修」はこの理念を体現したもので、(社)国際経済労働研究所と(株)応用社会心理学研究所が多くの労働組合の協力を得て開発されました。

研究会発足から20年以上経とうとしている今でも、ON・I・ONプロジェクトは、多くの労働組合がこの理念に共感し、様々な形で「参加関与型組織」を目指した組合活動を進めています。



**(株)応用社会心理学研究所** Aspect  
 Tel: **06-6941-2171**  
 (事務局 荒川・山本)  
 〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-8  
 北浜東森田ビル5F  
 Fax: 06-6941-2081

**(社)国際経済労働研究所** 研  
 Tel: **06-6943-9490**  
 〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14  
 大阪府立労働センター4F  
 Fax: 06-6943-9540